

企業としての社会的責任

当社は「21世紀の新たな複合金融グループ」として、社会からの期待に応え、社会における責任を果たすことによって「最高の信頼」を獲得することを目指しています。

「最高の信頼」を獲得するためには、「お客さま」「株主・市場」「環境・社会」「従業員」の4者に価値を提供し、その結果として社会全体の持続的な発展に貢献していくことが不可欠であり、それが当社グループの「社会における責任」、すなわち「CSR(Corporate Social Responsibility)」であると考えています。

当社グループが社会的責任を果たすための体制につきましては、「お客さまへのアプローチ」「リスク管理への取り組み」のページおよび次ページ以降に詳述していますが、ポイントは以下のとおりです。

第一に、コーポレートガバナンス体制、内部監査体制、コンプライアンス体制、リスク管理体制、情報開示体制等を整備して盤石な経営体制を構築し、健全な経営を堅持してまいります。

第二に、お客さまにより高い価値ある商品・サービスを提供し、お客さまと共に発展してまいります。

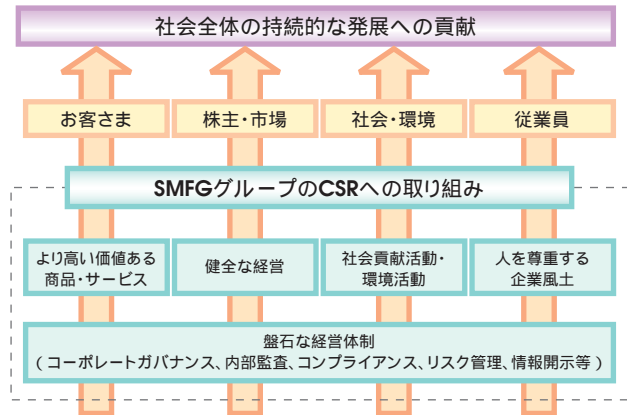
第三に、社会貢献活動・環境活動に継続的かつ積極的に取り組み、社会への貢献、地球環境の保全等に努めてまいります。

第四に、人を尊重し、従業員がその能力を遺憾なく発揮できる自由闊達な企業風土を醸成していきます。

平成17年4月、当社は「グループCSR委員会」を設置しました。また、三井住友銀行には「CSR委員会」を設置したほか、経営企画部の部内室として「CSR室」を設置しました。

当社グループにおきましては、これら委員会等の組織を通じ、グループ全体でCSRへの取り組みを一層積極的に行ってまいります。

当社(当行)におけるCSRの考え方



新聞広告

世の中の、幸せの窓口になろうと思う。

窓口

銀行には、もっといろんな窓口があっていいと思いました。みなさんがよくご存じのお客さま窓口だけではなく、社会のために、銀行として貢献できることを考え、行旅する窓口、そんな、世の中の、幸せの窓口になろう、そして、それを銀行の仕事にしよう、と思いました。実は、これまでも、銀行だからできることを、少しずつですが着実に取り組んでいます。

たとえば、夢をかたちにするためにがんばっている中小企業を応援する無担保融資だったり、風力や太陽光などの自然エネルギーによる発電を推進する環境配慮型の企業や事業への資金の支援だったり、また、約1万人の専任スタッフが毎月100円ずつ貯蓄して、災害や経済的な困難に苦しむ人々に寄付をするボランティア基金だったり、そして、まだまだ半分は見えませんが、あなたがイメージする銀行とはちがって、違うことにも力を注いでいます。企業もひとりの人間として、会社の幸せだけでなく、お客さまの幸せ、働く社員の幸せ、地域社会や国際社会の幸せ、協業関係の幸せまで考えて進んでいくことが、必要だと考えています。私たちは、ひとりの銀行として、そう考えています。これまでも、そして、これから、世の中の、幸せの窓口になろうと思います。三井住友銀行。

C S R

CORPORATE (企業が) SOCIAL (社会のために) RESPONSIBILITY (できることを)

SMBC 三井住友銀行

SMFG 住友銀行